

山行報告

★ 大平山(3月12日)

参加者 会員(障害者3名、健常者9名)
会員外(健常者1名)

心配した天気も、週間予報よりかなり良くなり、気温も暖かく山行日和となった。

武蔵嵐山駅でHさんと合流し、Hさんの案内で車道を大平山に向けて歩く。家々の梅がきれいに咲き揃い見頃だ。国道254号を横切り、さらに進んでお寺を過ぎたところから右に入る。少し行くと、嵐山溪谷との分岐となり、ここで一休みする。梅が美しく、足下にはオオイヌノフグリやホトケノザ、ヒメオドリコソウなどが咲いている。樹林帯の方からは、ウグイスのホーホケキョが聞こえてきた。今年初めて聞いた方も多かった。



大平山山頂にて

ここから山道に入るが、道幅も広く危険なところは全くない。山頂の手前では、タチツボスミレも見つけた。東屋を通り過ぎ、山頂で休憩す

る。大平山は、「おおひらやま」と読むのが正しいようだ。山頂の看板に書いてあった。山頂付近は、とにかく桜が多い。つぼみもふくらみかけていたので、2週間後くらいには、満開の桜を楽しめそうだ。

山頂を後にし、北側の登山道を進む。途中、北東側の開けたところがあり、展望が良かった。山を下り、林道を嵐山溪谷に向かう。箆抜け鳥のガビチョウだろうか、にぎやかな囀りがちょっと異様なほどだった。やはり、日本には日本にふさわしい品のある野鳥がふさわしいかなと思う。地面には一冬を越したキタテハが羽を休めていた。



歴史資料館の紅梅

しばらく行くと見晴台があり、トイレを済ませる。そこから少し行ったところで、橋の脇の河原で昼食にする。1時間の大休止で、昼寝をした人も何人かいた。

ここから、橋を渡って、オオムラサキの森の中を歩く。モンキチョウが舞って、春らしさを演出してくれる。ここから、菅谷館跡を見学し、平成楼で温泉に入る人とそのまま帰る人がいるので、途中で解散にする。

ここで分かれたはずなのに、温泉組が駅に行ったら、ホームで先に帰ったはずの人たちにばったり出会ったのには驚きました。

★高松山(3月21日)

参加者 会員(障害者3名、健常者10名)
会員外(健常者2名)

今日は素晴らしい天気恵まれ、車窓や松田駅から真っ白な富士山も見えた。

新松田駅から松田駅への乗り換えでは、のんびりしていたため予定より30分後の電車になってしまった。



山腹に広がる菜の花畑

山北駅で全員揃い、声出しをする。今回は初参加の方が2人もいて新鮮だ。車道を高松山登山口まで歩き、川を渡ったところで左に折れる。ここは川を渡る手前で折れた方が近道だった。

キセキレイが電線に止まっていた。また、上空にはイワツバメが舞っていた。まだ南の国から渡ってきたばかりだと思う。今年、初めて見るイワツバメだった。

道の脇には、オオイヌノフグリやホトケノザ、ヒメオドリコソウがたくさん咲いている。菜の花も咲いていた。農道終点から登山道に入る。テンナンショウの仲間、たぶんミミガタテンナンショウだと思う。たくさん鎌首を持ち上げていた。

コースタイム

武蔵嵐山(9:15)…大平山(10:30,10:45)…見晴台・河原(11:30,12:30)…平成楼(14:20)

途中で菜の花が斜面を黄色く染めた美しい場所があった。足下には、タチツボスミレも咲いている。緩い斜面を登っていくとビリ堂に到着する。ここからはちょっとした急登だ。ジグザグの道を登っていると、ミソサザイの元気な歌声が聞こえてきた。



高松山山頂にて

急登を終え、鞍部に立つと、山頂はすぐそこだった。広い山頂は、富士山も見えて展望の良い場所だった。ここで、少し遅い昼食をゆっくり楽しむ。

山頂からは第六天方面の少し急な道を下る。この道には、ミツマタの花が多かった。林道に出ると、キブシがたくさん咲いている。足下には、アカネスミレも咲いていた。また、無数にあったツクシを採集したりノビルを採集したりして楽しむ。

最後は、一部の方を除いて、予定を変更して、高松山登山口からバスで新松田駅に向かった。春爛漫を満喫した一日でした。

コースタイム

山北(9:45)…農道終点(11:00,11:05)…ビリ堂(12:15,12:20)…高松山(12:55,13:45)…高松山入口(15:00)

★坪山(4月25日)

参加者 会員(視覚障害者3名、健常者7名)

24日夜、理事長体調不良のためピンチヒッターを受けざるを得なかった時、鳥・虫・花等のレクチャーという学術的代理は出来ないけどせめて歩きに関しては企画書通りこなしたいと思いました。ところが、乗り込んだバスの中で東ルートは危険なので降らないように、つい先日も救助ヘリコプターが出動したばかりとの警告。やむなく、御岳神社から西尾根を上り東尾根を下るというプランの下山コースを、びりゅう館に出る南東寄りコースに変更いたしました。



無数に咲き誇るヒカゲツツジ

波乱含みとはいえ予定の9時30分に好転した天気を喜びつつ出発。可憐なイワウチワの横で一休みしてすぐお目当ての日陰つつじ登場、小さなキバナシャクナゲ風の柔らかいクリーム色がミツバツツジの濃いピンクと競い合っ

★八溝山(5月14日)

参加者 会員(障害者1名、健常者6名)

上野駅からスーパーひたちにHYさんと乗車し、水戸駅でIさん、そして入会ほやほやの

素晴らしい。途中暗転し、電がはねたり雷が轟きわたったりしましたが雨にはならず又も天気好転。延々と頂上まで続くつつじに励まされて急登をこなし11時半山頂着。

暖かい日差しの中、権現山・笹尾根から三頭山への山並み・奈良倉山から大菩薩の峰に囲まれ、春色の中に放り込まれたような所でしあわ



坪山山頂にて

せランチ。名残惜しいけれど奇妙な空に考慮して12時15分下山にかかる。花々や木々の若葉を愛でながらのんびりと下りて14:10ビリュー館着。予定の14:42発バスに乗り、上野原15:53発にて帰京。

土・日なら大行列確実の坪山をゆったりと、思いつき「わあーきれい!」と叫びながら満喫できた大満足の日でした。

記：T

コースタイム

御岳神社(9:30)・・・坪山(11:30-12:15)・・・びりゅう館(14:10)

TYさんと合流し、水郡線で常陸大子に向かう。TYさんから途中の西金駅の近くにある奥久慈男体山を教えてもらう。来年は、この山も計画したいものだ。

常陸大子駅でTさん、Sさんと合流し、Tさんの車で日輪寺入口まで送っていただく。小型

のバスが2台先を行く。山が相当混雑するのかと思ったが、この人達は日輪寺への参拝だったようだ。



新芽が出たばかりの樹林帯を登る

日輪寺入口で、Kさんと合流し、全員揃って日輪寺に向かう。整備された山道を歩き始めると、センダイムシクイが「焼酎一杯グイー」と迎えてくれた。近くでオオルリやシジュウカラの声も聞こえた。

早速、Kさんが「コシアブラだ」と芽を摘んでくれた。足下にはチゴユリが咲き、沢筋にはニリンソウも咲いている。日輪寺の東屋の下で昼食にする。木の間から、奥久慈男体山が見えた。

日輪寺を過ぎ、目に優しい新緑の中を登っていくと銀性水に到着。水は美味しかったが、ヒキガエルのもと思われるひも状の卵がたくさんあった。

銀性水からは、わずかで山頂だった。山頂直下まで林道が来ていて、車で来ることも可能な山だ。山頂で記念写真を撮った後、100円払

って展望台に登る。遠く、日光の男体山や鶏頂山などが見え、さすがに展望はよい。



八溝山山頂にて

山頂からは、来た道を少し戻って、途中から林道に出る。五水の一つだが、白毛水は見送り、登山道を下っていくと、鉄水と龍毛水が現れた。さらに少し下ると、一番美味しい金性水に着いた。ここは、徳川光圀公が最も高く評価したわき水だったそうだ。

ここから、車道を下っていくと、道の脇に山ウドが見つかった。私のような素人にはなかなか見つからないが、KさんやTさん、Sさんは、すぐに見つけてしまう。大収穫に喜びながら歩いていると、すぐに日輪寺入口の駐車場に着いた。大収穫に満足して、また車で駅まで送っていただく。

コースタイム

日輪寺入口(11:45)…日輪寺(12:15,12:50)…銀性水(13:15,13:20)…八溝山(13:30,13:50)…金性水(14:25,14:30)…日輪寺入口(15:05)

★川苔山(5月28日)

参加者 会員(障害者3名、健常者11名)

今日は、朝のうち雨が残るものの、午前10時頃にはほぼ雨も上がり、昼からは青空も望めるだろうと、天気予報を信用して決行した。

鳩ノ巣駅を出る頃、やや霧雨状だったが、歩き始めるとすぐそれもなく、一度も雨具を付ける必要がなかった。

急なコンクリートの道を登り、シャガの咲き乱れる登山道を登っていく。足下には、雨に元気が出たのか、ヒルのような長細く気持ちの悪い虫が、長々と伸びて道を横切っている。踏まないように注意しながら登っていくと、大根ノ

山ノ神に着く。ここから真っ直ぐに尾根上に行くコースを取る。急な登りを過ぎ、次の分岐で本仁田山へのコースを分けて、トラバース道に行く。



このトラバースは、所々右側が切れているので、注意しながら進む。霧にけむる樹林帯の幻想的な風景を見ながら、Yちゃんと冗談を言いながら登っていく。トラバースを終えて着いた大ダワからは、尾根上のルートを取ることにする。真っ直ぐ登った方が早いと思ったが、このコースは、非常に急で岩と土のミックス帯。さらに切れ落ちた右側にルートが取られていて、スリップしたら大きな事故になるため、慎重に行動する。登山道もはっきりしない部分があり、谷側に外傾した細い足場を頼りに登っていく。この急な登りは3回続いた。3回目には、先に行ったHさんが下りてきて、ロープを出してサポートをしてくださった。Yちゃんは、YAさんにロープで結び合ってサポートしていただいた。

苦勞しながら舟井戸に着いたのが14時15分だった。先に登ったメンバーは、山頂を目指している。私たちは、ここで引き返すことにしたが、力のあるYAさんには、1人で山頂に行ってもらおう。Hさんも後を追いかけて、山頂に

到着したようだ。



下りも時間がかかることが予想されるため先に下る。私はHさんのザックが心配なため、上からTさん、Nさんが下りてくるのを確認して、先に下ったメンバーを追いかけた。舟井戸からの下りはトラバース道を使ったため、危険な箇所はほとんどなかった。ただ、標高がなかなか下らない。途中、斜面の下を見たら、カモシカが歩いていた。沢筋には、黄色いマンネングサの仲間、ヒメレンゲが咲いていた。フタリシズカやマムシグサを楽しみ、時折差し込む日の光に、感動しながら、ようやく大根ノ山ノ神に到着。登ってきた時、たくさんいたヒルは見つからなかった。

疲れた体に鞭打って頑張って歩き、鳩ノ巣駅に18時到着。ここで解散とし、そばを食べるグループと、そのまま帰るグループに分かれた。お疲れさまでした。

コースタイム

鳩ノ巣(9:50)…大根ノ山ノ神(10:55,11:05)…
大ダワ(12:25,12:50)…舟井戸(14:15,14:45)
…大根ノ山ノ神(17:00,17:10)…鳩ノ巣(18:00)

★城山および茅ヶ岳は、雨のため中止しました。

講習会報告

★岩登り講習会(日和田山)(3月5日)

参加者 会員(健常者3名)

今回は、少人数で、岩登り講習会を行った。
少人数の時は、1人あたりの密度が濃くなる。
岩登りの基本とハーネスの付け方、ロープの結び方などを、初経験のMさんにHさんの力を借りて、伝授する。まずは女岩の3級ルートを登ってみる。続いて、右側の凹角近くを登り、下りは懸垂下降を覚えてもらう。

昼食後、男岩の4級ルートを登り、さらに西

面のアンダー
クリングフェ
ースなどを登
り、充実した
1日を過ごす
ことができた。



男岩を登るMさん

★4月11日および4月16日に予定した岩登り講習会は参加者不在および雨のため中止しました。

その他事業報告

★定期総会(5月20日)

出席者 社員(正会員)40名(うち書面委任者18名)

社員(正会員)総数(44名)の1/3以上の出席があり、総会が成立

詳細は、総会議事録をご参照ください。

☆第8回ふれあいハイキング(花見川)(4月9日)

参加者 会員(障害者19名、健常者6名)

会員外(障害者2名、健常者9名)

する。今回は、植物ガイドのKさんを含めて36人の参加となった。

団地から狭い舗装道路を歩き、花鳥観音のあるお花見広場に着く。桜がたくさん咲き乱れ、花見川の畔は、菜の花が一面を黄色く染めている。ここで早速昼食タイムとする。斑毎に分かれてシートを広げて、ゆっくりと昼食を楽しむ。食後はKさんから、タチイヌノフグリを教えていただいたり、オオイヌノフグリの実を探したりした。Yちゃんはぺんぺん草を回して音を出し楽しんでいる。

八千代台駅に集合し、バスで花見川団地中央公園まで行く。ここから少し歩いて、声だしを

遅れてきたOさんと合流し、花見橋を渡り、花見川の対岸を歩き始める。昼食を取ったお花



お花見広場(花島観音)での昼食風景

見広場は、桜がいっぱい咲き美しい。野鳥はあまり多くなかったが、それでもモズやカワウ、コガモ、カルガモ、コゲラなどを見つけた。川では、カメが顔を出して泳いでいた。

ジロボウエンゴサクやカキドオシ、タチツボスミレをたくさん見た。林の中でアカネスミレを二株だけ発見した。紫色が濃く美しい。

桜並木の下を歩き、柏井橋、弁天橋を過ぎて、土俵のある広場を過ぎると、勝田台の町並みが見えてくる。花見川の畔や畑の花を楽しみながら、国道に出て、勝田台駅に向かう。風もなく、暖かな1日をのんびりと楽しむことができた

コースタイム

花見川団地中央公園(11:10)…お花見広場(花島観音)(11:25,12:35)…勝田台駅(15:10)

▲第9回ふれあいハイキング(秋ヶ瀬)(5月21日)

参加者 会員(障害者9名、健常者2名)
会員外(障害者2名、健常者10名)

昨日までの不安定な天気が一変して、今日はすばらしい天気になった。気温も半袖で良いくらい、暖かいというより暑いに近かった。

勝田台駅で数人の方と合流し、浦和駅には、予定より大幅に早く着く。浦和駅集合の参加者の人たちと合流し、バスで諏訪前橋まで行く。車できているHさんと連絡を取り合ったが、ここからは鳥を見たり花を見たりの、超スローペース。Hさんには、かなりの時間を待っていただいた。

自己紹介後、秋ヶ瀬に向けて、土手を越え、小さな川の畔を歩いていく。オオヨシキリがアシに掴まって囀っている。望遠鏡で可愛い姿をみんなで楽しむ。セッカのヒッヒッヒッという声も聞こえる。ヘラオオバコは、線香花火のようでおもしろい。



秋ヶ瀬での昼食風景

田んぼの向こうには、アオサギがのんびりと動かずにいる。ヒバリの姿も確認できた。少し歩いたところで、ようやく秋ヶ瀬の西洋庭園に到着。犬の品評会でもあるのか、多くの犬がうるさく吠えていた。Hさんと合流し、木陰を見つけて昼食にする。講師のZさんが、葉を折り畳んで巣を作ったクモを見つけて教えてくださる。生まれたばかりのカメムシだろうか、薄い緑色の虫も掴まえてきてくださった。

ここから、グランドを越えて、湿地帯に入る。チョウジソウやウマスゲ、ヤワラスゲなどを教えていただきながら、カワセミを探すが、この日はさすがに人出が多すぎたのか、見つけることができなかった。シジュウカラが囀り、アオジ(たぶん)やホトトギスの声も聞こえた。

この付近で、暑さのせいで参っている人がいないか心配したが、まだ大丈夫そうなので、北口駐車場でトイレを済まし、羽根倉橋を越えて、大久保農耕地への土手に上がる。ここは、奥武蔵の山並みも見えて展望がよい。ただ、陽射しを遮るものがなく、とにかく暑いので、足早に土手を歩く。ほとんど観察できなかったが、それでもヒバリがすぐ近くで立ち止まり、望遠鏡で何人かの方にしっかりと見てもらえた。

土手を下り、バス停に向かう。途中にあった

自動販売機で、つめたいジュースを飲み、風通しの良い日影で心地つく。ここに立ち寄ったためにバスは一本遅れてしまったが、おかげでカワラヒワをよく見ることができた。暑い一日、お疲れさまでした。

コースタイム

諏訪前橋バス停(10:30)…秋ヶ瀬西洋庭園(11:40,12:40)…やつしまニュータウン(15:05)

△救助活動のためのロープワーク他(5月20日)

救助活動に必要なロープワークや、ザックを使って人が人を背負う方法などを、本「全図解

レスキューテクニック」を基に、みんなで学び合いました。

▼山の思い出話(5月20日)

総会前の時間を活用して、田村氏のマッキンリーやサンチャゴ巡礼、奥駆け道などの話を中心に、平野氏の沢登りの話や、参加者全員の山の思い出話を語り、聞く機会を設けました。田

村氏の、わずかな好天を捉えてのマッキンリー登頂や多くの人たちとの出会いを楽しんだサンチャゴ巡礼など、夢を描ける楽しい話でした。

個人山行報告

★日和田山岩登りトレーニング(4月29日)

参加者 会員(障害者1名、健常者4名)

岩登りトレーニングをしたいという要望があり、日和田山で実施した。

連休前のトレーニングだろうか、日和田山の岩場は、人であふれかえっていた。女岩しか場所を確保できそうにないので、今日は女岩を集団的に登る。また、懸垂下降をみなさんから覚

えてもらおうと、Hさんと岩場で出会ったHさんの友達のYさんから、しっかりと説明および実地指導をしていただく。

いつもの南面を登って昼食後、西面のチムニーにチャレンジする。ここはいつも空いているので、他のグループに気兼ねなく取り付ける。みなさん、初挑戦だったが、しっかりと登り切った。

★大黒茂沢登り(4月30日)

参加者 会員(障害者1名、健常者2名)

会員外(健常者1名)

4月29日。日和田で岩トレの練習に参加し、奥多摩駅に直行する。4人皆で、もえぎの湯で

風呂につかり、夕食を取る。三条新橋の泉水谷林道入口駐車場に向かい、テントを張る。焚き火をし、例のごとく酒盛り。沢の水音を聞きながら寝る。

4月30日。5時起床。焚き火を起こしなおし、朝食を取る。'無限'の山岳会の方達としばし談笑。彼らも大黒茂谷との事。テン場を片付け、車で大黒茂へ向かう。

8時に入溪。出合の巨石帯にて、釣り師が先行している。挨拶をし、彼の釣りの邪魔をしないよう巨石帯は大きくたか巻く。堰堤は右側を登り、懸垂下降の練習をし川床に降りる。なんと、誰かさんエイト環を持ってきていないとの事。私はATCで降りる事にして、懸垂下降の確認をそれぞれしながら練習する。3m~5mの滝、ゴーロ、ナメと出てくるが問題ない。このあたりの標高だとまだ芽吹きの子、朝のやわらかい陽射し、小鳥のさえずりの中楽しく進む。Kちゃんは、岩と岩の遠近などがつかみづらそう。Nさん、Yさんのサポートで頑張っている。

途中にナメ滝、五月雨のような滝、数段に棚になった滝などがあり、美しい。流入する枝沢を確認し現在地を確認しながら進む。ザイルで確保したのは、6mナメ滝のみで快適に遡行していく。

ここで、注意点1、ルート集の遡行図ばかり頼りにいくと、現在地があいまいになりますよ。地形図で枝沢をチェック、あくまでもルート集は補助。

1430m付近で昼食とする。昼食後30分ほど昼寝をしてしまう。目を開けると、皆さん

出発の体制、お待たせしてすみません。時間的に余裕がないので、F4の12m滝を見て遡行終了ということで進む。2回目の仕事道の橋が横切るあたりで、遠くに、白く凍りの張った滝が見える。これがF4の滝。1550m付近まで遡行し、この滝を見物して、第二の仕事道の橋にもどり遡行終了とする。

沢靴を登山靴に履き替え下山に移る。下山のルートは、この橋より左岸の仕事道(所々、廃道化している)を伝い大黒茂林道で入溪点に戻る予定であった。

が・・・・・・・・。なんとこの後、道迷い尾根下降となり、探検、冒険のようなスリリングな体験をした。

ルートは、上記の1600m登山道以降から。注意点2、慌てない、腹をくくる、冷静になる。皆様、多少ビビっていましたが、大黒茂谷を右手に、大菩薩を南に観ながら、尾根を進めば出発点に戻れると確信していたので、進む。無事下山と相成りました。終わってみれば、皆様大満足の様子。この予定外の尾根下降があつたお陰で、印象に強く残る山行となったようです。

記：H

コースタイム

大黒茂谷出合(8:00)・入溪…1430m 付近(昼食、11:45~12:30)…F4 手 1550m 付近(13:20)…仕事道(13:40~14:00)…1600m 登山道稜線(14:20)…1637m ピーク…1574m ピーク…1100m 付近大黒茂林道に向け、尾根下降…泉水谷(16:05)

大黒茂沢を遡行して

4月29（土）鳩ノ巣駅で合流し、一風呂あびて車で移動しテントをはりました。

天気予報では、夜は雨のようでしたが星の見える夜で、焚き火を囲んで怪談話をしました。春とはいえ夜間2時くらいから気温が下がり、気持ちの高ぶりで、みんな起床予定より30分早く5:30におきる。

テントには、朝露がつくほど寒いですがHさんがみんなのために焚き火を用意してくれた。朝食をすませ、となりに泊めてあった車の2人連れに焚き火をゆずって出発。Yさんから手袋とリストバンドをかりて気合も入る。沢の水は、きれいで、つりをしている人がいたのでまいて進む。途中園丁の所で懸垂下降する。

4月の沢の水は、冷たいのをとおこしてきたいが、石の上は、足元が分かりにくいので、安全のために、水に入れる所は、すすんで足を浸した方がバランスがとれる。今回一番良かったのは、5mのなめ沢の滝が、後ろから照りつける太陽に白く光って最高でした。その滝の左を登り、滝の上に立つのは、初めてで、滝を上から眺めるとなんか吸い込まれそうな感じになりいい体験をしました。それと、庭園の噴水のようなきれいな滝をシャワークライミングしました。登攀の時は、トップのHさんNさんをはじめザイルで確保していただき、スムーズでしたが石の上を歩くのは、足元が見えないので、手探りしたり、四足歩行で行ったので、体力を消耗した。石の上のコケで滑った時も後ろからのHさんのOK!の声かけにはげまされました。このあたりは、甲州の金山だったので沢に金が光ってました。

昼は、体力の回復のため、ラーメンの他パンとおにぎり、りんごで栄養補給。もちろん冷たくミネラル含んだ沢の水を飲み完全復活！ 午後2時に、最高到達点 12mの大滝で上が凍っていました。

そこから仕事道にぬけ、橋を渡りいくつかの登りがあり、尾根に出ましたが道があやしくなるが、尾根から見える大菩薩を確認しながらHリーダーの判断の元に、急坂や、やぶこぎをクリアしながら難しい下りでしたが見事に車のある出発地点に下りてきました。

今回、中級の沢で普通3時間で行くところを倍の時間をかけても1/3しか登れませんでした。車に乗り込んだとき、今まで気がつかなかった膝の打撲と手足のかるい擦り傷を感じ、沢と山とは、違った難しさと楽しさで充実しました。

記：平成18年5月 K

各種連絡事項

●おとな愉快団「NPO入門」に取り上げられました

インプレスジャパンが発行する。「ITで新しい大人の生き方を作る」というコンセプトで発行する「おとな愉快団」という雑誌の、「NPO入門」というテーマで編集された雑誌に、

山仲間アルプが紹介されました。書店で見かけ

たら、手にとってご覧ください。

○理事会の議事録

4月20日と5月29日に開催した議事録を添付しました。5月29日のものは、署名の

ため回覧中ですので、参考としてください。

▲救助隊メンバー訂正のお詫びとお知らせ

前回の機関誌送付時、同封した救助隊のメンバーですが、間違って志賀健也氏の名前を掲載していましたので、訂正版を同封しました。ま

た、隊長の相澤氏が退会となったため、平野氏に隊長に就任していただきました。

△知的障害者の人たちとのミニハイキングについて

総会で、今年度から、知的障害者の方とのミニハイキングに取り組むことが議決されました。登山を希望者の方がいた場合、一緒に登山も楽しみたいと思っていますが、事前に知的

障害を理解するため、研修を予定しています。日程が決まりましたら、お知らせしますので、ぜひ受講をお願いします。

▼ふれあいキャンプの実行委員会

8月19日～20日に行う「ふれあいキャンプ」の実行委員会を結成します。みんなで力を合わせて、楽しいキャンプにしたいと思っていますので、実行委員になっていただける方は、

事務局までご連絡をお願いします。なお、日程の関係で、メーリングリスト参加者に先に募集をかけ、下見などを進めることがありますので、ご了承をお願いします。

▽ホームページ情報

ホームページのアクセス数は、5月末日現在約28000のアクセスがありました。ホームページは、機関誌に掲載できない多くの写真が掲載されています。パソコンをお持ちの方は、ぜひご覧ください。さらに、メールを使える方同士で、メーリングリストも運営していますの

で、パソコンをお持ちの方で、メーリングリストに参加を希望される方は事務局まで申し込みください。また、各種情報も迅速に流しています。もし、これからパソコンを購入したいという方がいましたら、ぜひ事務局までご相談ください。

今後の計画

▲2006年度事業計画の一部訂正

10月14日～15日に予定していた川場村・吾妻耶山ですが、六つ星山の会の創立25

周年記念事業に出席するため、10月8日～9日に変更しましたので、よろしくお願いします。

△個人山行の計画

個人山行を計画されている方は、事務局まで 大です。もしもの時のために、必ず提出するよう計画書を提出ください。計画書を提出していない方に心がけてください。

いと、スポーツ保険の対象にならない可能性が

【スポーツ保険のご紹介】

山仲間アルプで加入しているスポーツ保険は、掛け金が年間（４月１日から翌年３月３１日まで）１,５００円で、下記の補償があります。

- | | |
|----------|--|
| １．障害保険 | 死亡 2,000 万円、後遺障害 3,000 万円、入院(日額)4,000 円、通院(日額)1,500 円 |
| ２．賠償責任保険 | 身体賠償(1 人 1 億円、1 事故 5 億円、免責 1,000 円)
財物賠償(1 事故 500 万円、免責 1,000 円) |
| ３．共済見舞金 | 160 万円 |
| ４．注記 | 雪山や沢登りなど、ザイル、ピッケル、アイゼンを使うような山は、保険金の対象となりません。そのような山に行かれる方は、各自山岳保険に加入願います。 |

会 員 情 報

◎新入会員のお知らせ

３月以降、下記の方が新しく入会されましたので、よろしくお願いします。（敬称略）

正会員 １名

賛助会員 ７名

○退会者のお知らせ

３月以降、残念ですが、以下の方が退会されました。（９名）

編集後記

・理事長のつぶやき

総会で、今年度から知的障害者の方達と、八千代市周辺のミニハイキングや登山にも取り組んでいくことになりました。しかし、まだ知的障害に対しては、知識も経験も不足しているため、八千代市内にある知的障害者の通所厚生施設の方の協力を得て、研修など

を行いながら進めていきます。ぜひ、みなさまの参加をお願いします。

視覚障害者の方も、ぜひ知的障害者の人たちの力になっていただけたらと思いますので、ご協力をよろしくお願いします。

・次回発行予定は、9月です。

参加申し込みやお問い合わせは事務局まで

〒276-0022 千葉県八千代市上高野 1161-1-208

NPO 法人山仲間アルプ事務局 網干 勝

TEL.047-484-8308

障害の有無も、年齢も、男女も関係なく、みんなで山を楽しみたいね。自然は、誰に対しても平等だよ！！

